

(3) 二列のときは互に手を取るやう。

方法第二

一列縦隊で行進して(イ)に進み、第一番は左へ第二番は右へ、交互に方向を變へて行進し、奇數生は(ロ)(ヘ)を経て(ホ)に進み、偶數生は(ハ)(ト)を経てホに進み、(ホ)に於て奇數生は左側生、偶數生は右側生となつて二列で(イ)に向つて行進する。

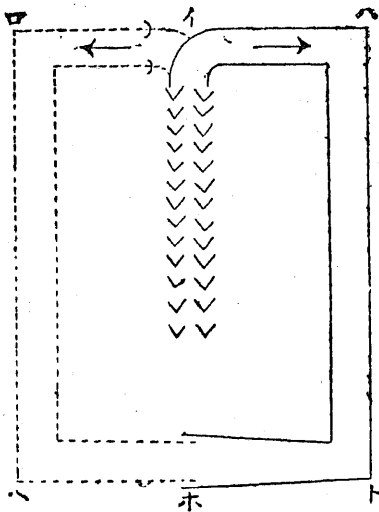
注意

第一の場合に同じ。

方法第三

先頭の第一伍は左へ向きを換へて(ロ)に進み、第二伍は右へ向きを換へて(ハ)に進み、第三伍は左へ、第四伍は右へ、順次かくして最後の伍に及ぼし、奇數伍は(ヘ)へ、偶數伍は(ト)へ進み互に(ホ)に向つて行進する間に偶數伍は列間を開き、奇數伍を通過させ、奇數伍は偶數伍の列

間を通つて(ト)(ハ)に進み、又偶數伍は(ヘ)(ロ)に進み、互に(イ)に向つて行進するうちに今度は奇數伍が列間を開き偶數伍を通過せしめ偶數伍は奇數伍の列間を通つて、(ハ)(ト)に進み、又奇數伍は(ロ)(ヘ)に進み、兩組(ホ)に於て相會し、奇數伍は左へ、偶數伍へ右へ向きを換へて(イ)に向ひて四列側面縦隊の行進をなし、第一伍は(イ)に至りて停止し、第二伍以下は適當の距離をとりて停止する。



方法第四

前の方法から行ふ場合

二列づゝ左右に分れる。即ち(イ)に於て左の二列は伍々左へ分れて、(ロ)(ハ)に進み、右の二列は伍々右へ分れて、(ニ)(ト)に至り、兩組(ホ)に於て相會するやうになれば、左側の第一伍は、伍々左をなして中央に進み、次は右側の第一伍、次は左側の第二伍、次は右側の第二伍と順次二列となつて行進し、(イ)に至つて停止する。

方法第五

方法第四から行ふ場合

一列づゝ左右に分れる。即ち(イ)に於て左の列は左へ分れて(ロ)(ハ)に至り、右の列は右へ分れて(ニ)(ト)に至り、兩組(ホ)に於て相會するに至れば、先づ左側の第一番は左へ折れて中央に進み、次は右側の第一番、次は左側の第二番

次は右列の第二番と順次一列となつて行進し、(イ)に至つて停止する。

注意

(1) 第二から第五までは續けて行ふことが出来るから、最初は第二と第三、次は第四と第五とを續け最後には第二から第五までを續けて行へ得るやう練習するをよしとす。

(六) 十字行進

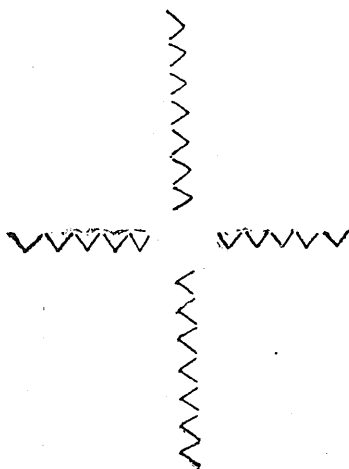
十字行進は配列の形、動作の性質などから、この名稱が出たもので、其の方法も種々ありますが、此處では最も簡單なるものを解説することにいたします。

準備

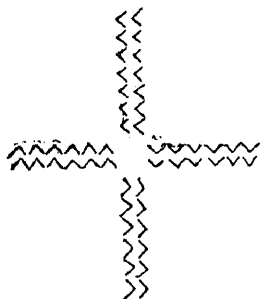
準備の隊形として次の三種あります。

(1) 全兒童を八等分し、正面八人の八列又は偶數を以てなる數個の横隊を作り、左右前後の間隔距離を各々片臂の長さとする。

(2) 全兒童を四等分し、次の如く一列の十字形に
竝ばせる。



(3) 全兒童を四等分して次の如く二列の十字形に
竝ばせる。



方法

(一) 八呼間

兩手を腰にとり（互に手を繋ぐ）軽く足踏す
る。

(二) 八呼間

互に隣生と手を連ね三步前進した後三步後退
して元の位置にかへる。

(三) 八呼間

互に連手のまゝ七歩前進し最後に左向してと
まる。

(四) 八呼間

一の動作をする。

(五) 八呼間

二の動作をする。

(六) 八呼間

三の動作をする。

(七) 八呼間

- (一)の動作に同じ。
- (八)八呼間
- (二)の動作に同じ。
- (九)八呼間
- (三)の動作に同じ。
- (二)八呼間
- (一)の動作を繰返す。
- (二)八呼間
- (二)の動作を繰返す。
- (三)八呼間
- (三)の動作を繰返す。

注意

(1)唱歌又は樂器の伴奏に合して行ふを可とする。

(2)熟練すれば以上の動作を左足から行つて右轉向をなし、更に右左と交互に連續して練習するを可とする。

